

■ 北海道情報大学学内報



NANAKAMADO



図書室にて

● 目 次 ●

学部長就任にあたって 久野学部長……………	2	ゼミナールちょっと拝見……………	8
新入生に期待する 角井学生部長……………	3	CLUB自慢……………	9
着任にあたって……………	4～6	主要行事……………	10
Library Information……………	6～7	編集後記……………	10

発行・北海道情報大学  
 〒069-8585 江別市西野幌59-2 TEL 011-385-4411 FAX 011-384-0134



# 学部長就任にあたって

—— わが大学の当面の課題 ——

経営情報学部長 久野光朗

本年4月から、はからずも経営情報学部長を務めることになりましたが、みなさんの御教示・御助言・御協力をいただき、本務を全うしたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

## わが大学に課された当面の諸問題

わが国の今日の社会では、情報化・国際化の波が急速に押し寄せてきています。新しい世紀への転換を迎えるにあたって、それはまた第3の千年期をも迎えることですが、かかる社会の構造的変革に対応するべく、わが北海道情報大学においても各種の対策を講じなければなりません。それらの課題を例示的に列挙してみますと、学部増設・入試改善・カリキュラム改革・国際交流推進などがあります。以下、それらの内容を簡潔に紹介し、その課題達成の方向性を示しておきましょう。

## 課題遂行の方向性

まず学部増設ですが、これは社会の要請と大学の理念に合致した情報の総合化・統合化という方向で考えなければなりません。すなわち、将来的には3学部程度の情報系総合大学化を目指し、とりあえず1学部の増設を実現させることです。目下、学長の諮問に答えるべく学部増設検討委員会が設置され、6月末を目途に答申案を作成中です。新設学部の規模は、既設の経営情報学部との両立性を考慮して同程度のものとし、早ければ平成12年4月からの開設ということになるでしょう。

つぎに入学試験方法の改善にかかわる課題ですが、これは大学における人材育成という社会的使命のインプットにあたる重大な問題であり、多様な価値観と豊かな潜在能力を有する学生諸君に入学してもらえよう方向づけをすることです。この件については、すでに今年度の入試から受験生に選択の幅を与えるため科目増を試みていますが、その成果の検証をも踏まえて、さらに明後年以降の入試に向けて改善の方策を模索しようと努力しています。そのため、すでに入試改善小委員会が

設置され、本年9月末を目途に試案づくりを始めているところです。

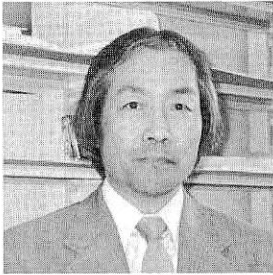
第3の課題であるカリキュラム改革ですが、入試が大学教育におけるインプットであるとするれば、これはスルーポイントと称することができるでしょう。入学してきた学生諸君に十分な付加価値をつけて卒業させる——アウトプットとして世の中に有用な人材を送り出すということです。その根本的改革は既述した新設学部との関連もありますが、とりあえず実行可能な面から手をつけるべく、これまたすでに教務委員会にその作業が付託されています。

最後の課題である国際交流促進についてですが、たとえ地方の大学であっても、今日、研究・教育の両面において地球の規模で考えていかなければならないことはいうまでもありません。具体的には、わが大学としても世界各国の大学・研究機関との連携をはかり、教職員・学生の相互交流を試みなければなりません。一方的に先方へ派遣するだけでなく、先方からも受け入れなければならないので、その体制づくりも大変ではありますが、これまた着実かつ漸進的に実行していくことを心がけ、すでに国際交流推進委員会を学内に発足させたことを申し添えておきます。

## 大学関係者による啐啄同機

以上、本学がかかえている当面の課題について、4つに絞って紹介し、かつその方向性を説明しました。これら以外にも、設備・機器の充実、グラウンドの整備、その他の課題が存在すると思います。しかし、いずれにしても、かかる課題の達成は、学生諸君をもふくめた大学関係者による啐啄同機の協同作業としてなされなければなりません。ここに「啐啄同機」とは、中国の宋時代の仏書、圓悟の手になる『碧巖録』に由来する禅語ですが、卵の中の雛と親鳥が卵の内外で同時的協同作業によって殻を破り、雛が無事に世の中へ生まれできるようにすることをいうのです。

(平成10年6月15日記)



## 新入生に期待する

学生部長 かくい 角井 あつし 穆

みなさんが、多くの大学の中で特に北海道情報大学を選んで入学されたことは大変に意義深いことです。

それは、1980年代に冷戦が終了して情報革命が世界全体で進行している現在、経営情報学部で学ぶことが時代の要請にかなっているからです。

すでに、ボーダレス(国境の制約を受けない)とグローバリゼーション(世界が一つにまとまりつつあること)は進行して、世界全体をネットワークする電子市場・電子取引・電子貨幣の運用がおこなわれ、貿易も出入国も外国為替取引も自由化されつつあります。各国とも、自由化・開放・改革をストップさせることは不可能であり、諸国家・諸民族の相互依存関係は年々深くなるばかりです。

4月からみなさんが学習を始めている情報とコンピュータは、みなさん一人一人を直接に世界全体にアクセスさせる道具であり、人の能力の開発と発揮を強力にサポートしてくれる知的な環境となっています。

今我々が直面している自然破壊(地球温暖化や環境ホルモンなど)やアジア経済危機の問題なども、コンピュータを中心とする情報システムを構築することで解決が容易となります。

情報システムを開発する情報産業や一つ一つの会社の中にある情報部門は、拡大と繁栄を続けており、みなさんが卒業して就業するのを待っています。

みなさんは、経営情報スペシャリストになろうとしているのです。

去年から日本では失業者が増加していますが、これはアジア経済危機の一つのあらわれであり、情報革命の進行(ボーダレスとグローバリゼーションも情報革命の結果です)にともなう一時的な混乱です。

情報革命は、日本のみならずすべての国で憲法改正・制度改革・政策転換を必要とさせているの

です。

ところが、わずか十数年間の急激な情報革命の進行とそれにとまなうボーダレスとグローバリゼーションのため、政治の対応が遅れ多くの人々も情報革命を理解できなかつたり情報革命に適応できずにいるのです。

あと数年のうちには、政治も遅れをとりもどし、多くの人々も情報社会に適応するようになるでしょう。そして、経済も危機を脱して安定し繁栄することでしょう。

情報革命は、政治については電子投票と国民参加のテレビ会議・経済については電子市場と電子取引と電子貨幣(キャッシュカードで買物ができる・キャッシュレスになり偽札被害がなくなる)・文化については遠隔教育や遠隔医療や遠隔勤務など・都市についてはインテリジェントシティといったように、すべてにわたって人類全員に大きな変化をもたらしつつあります。したがって、憲法改正・制度改革・政策転換が必要となっているのです。

政治家も国民の多くも、この情報革命とそれが1980年代に冷戦を終了させ世界を大転換させたことを理解できずにいます。

しかし、幸いなことにみなさんは、この大学での4年間に、情報とコンピュータと情報革命について十分に学び経営情報スペシャリストになることができます。そして、現在は混乱して危機に直面している日本経済も回復し、やがてはみなさんも大学を卒業して就職するわけですが、みなさんが大いに活躍できる条件はあります。

新入生に期待することは、現在の混乱や危機にうらたえることなく、情報革命が日本のみならず世界全体にもたらそうとしている革新と進歩を自覚して、4年間の大学生活を有意義にすごしてほしいということです。学ぶべき目的と価値は明らかです。



# 着任にあたって



教養課程助教授

たかのしお  
高野俊夫

この程釧路より英語担当として着任致しました高野です。教職員・学生の皆さんよろしくお願い申し上げます。

若い頃は野球で鍛え、歳の割には気持だけは若く、好奇心旺盛なのが特徴です。

最終学歴は、筑波大大学院地域研究研究科というところで、カナダ研究・文化人類学を専攻しました。その後、カナダ・トロント大大学院で1年留学生生活を送っています。

これに先立つ釧路江南高校時代は、演劇部と英語部に所属。映画『セーラー服と機関銃』で有名な中学の先輩の相米慎二監督に演劇部入部を勧められたのが自慢です。また、北大時代には、随筆を書くサークルを興し、このサークルの名が三浦

この4月に、新たに着任されました、5人の先生に自己紹介して戴きました。

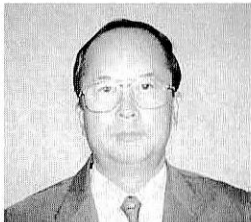
綾子さんの小説『氷点』にのっているのが二つ目の自慢の種です。

英語の教育歴については、釧路高専で4・5年生を対象に8年間教えたことを筆頭に、小・中・高生、予備校生と、多様な教材を用いて15年以上の経験を重ねてきました。平生より、授業では、学生との双方向性を保つよう心がけていますが、教材にも、実用的で時事的なものを種々の英語メディアより取り入れて活用していきたいと考えております。

しかし、本学に着任したばかりでまだ事情に疎く、学生・教職員の皆さんに多々ご迷惑をおかけする場面があるかと思えます。ご容赦いただければ幸いです。

今、「漂流する北海道」（日経刊の書名）と囁かれる中、21世紀の北海道の発展に貢献すべき人材の育成を図ることと、印パの核実験の伝えられる中、平和の礎となる北海道の国際化を推進することへの長年の思いを実現するべく、一日一日全力で頑張っていく所存でおります。

どうぞ、経験豊かで熱心な3人のネイティブの先生ともどもよろしくお願い申し上げます。



経営学科助教授

たかし  
富士隆

今、米国では民族の大移動が起きているそうです。ニューヨークやシカゴなどの大都会から自然を求めて田舎へ移り住む人々が増えているのです。日本でも私のようにオイコット(OYKOT: 右から読むと東京、即ち脱東京の意)ライフを実行する人が少しずつ増えています。22年間、生命保険会社で情報システムの開発に携わり、経営と情報技術に関わる現場でいい仕事をする機会に恵まれました。

91年から、大学に隣接する学習情報通信システム研究所で7年間のプロジェクトに加わり、オブジェクト指向技術に基づく学習システムの開発方法論やリポジトリに関する研究、開発を行ってきました。その成果は、国際会議などで高く評価さ

れ本学理事長松尾三郎博士の世界に通用する研究所にしたいという当初の目標に一步でも近づけたと実感しております。

この4月から、本学でお世話になりますが、教育面ではこれまでの開発と研究の現場での経験をできるだけ学生諸君に伝えたいと考えています。まだ2ヶ月ほどの学生諸君との交流ですが、「情報」を真剣に学びたいという意欲と期待をひしひしと感じております。「情報」の名にふさわしい大学として、真に世界に通用する大学を目指して学生諸君と共に努力していきたいと夢を描いています。研究面でも、これまでの環境と大きく異なりますが、一步一步すすめてまいりたいと思っています。

学生諸君は、これからの人生をどう生きていくのか、その解決の糸口を是非本学で学びとって頂きたいと思えます。それには、常に自分の夢を描き、それに向けて挑戦する勇気を持つことです。これから迎える21世紀は、情報技術が社会基盤の重要な核となるわけで、社会の学生諸君に対する期待も大きいのです。共に努力することを始めましょう。



情報学科助教授

伊藤 佐智子

今年には本学の10周年という記念すべき年にあたります。この3月までは学習情報通信システム研究所に勤務しておりました。本学とは敷地を接しているため、訪問された方もいることでしょう。また、3年前から本学の非常勤講師を務めており、4月から常勤ということになりました。

いざ、大学の中にはいってみると、外部から務めていた時とはちがひ、はじめての経験をするこ

とになります。一度に大勢の学生諸君の出席をどう把握しようか、私語をどうやってなくすか、などは難題です。諸先生のやり方を踏襲して授業をはじめているところです。

担当教科は選択科目の「データベース入門」と、通信教育部の「データベースシステム論」です。学習情報通信システム研究所の前の勤務地は、北海道大学医学部でした。講義は、これらの勤務中にかかわったデータベースやデータベースシステムについての事例を紹介しながら進めています。北海道には内地留学の期間をあわせると、30年近くも住むことになりました。北海道の大学から情報の専門家、技術者が数多く巣立っていくよう、心を尽くしたいと願っています。



情報学科講師

豊田 規人

私は長らく理論物理、とりわけ素粒子論を大卒後10余年研究してきました。この分野は就職が厳しく、北大で学位を取得後、学術振興会の特別研究員なども含めると計5年程のOD生活を送りました。2年間の特別研究員の期限が切れ、30歳半ばで再びどん底の窮乏生活に舞戻すことを覚悟した頃、現通信教育部長の西辻先生からSRLという研究所を紹介され、更に現学長の三枝先生等のご尽力もあり入所することになりました。そこは今までと全く違い、主に教育情報工学関係の研究所で明確な目的と期限を持っておりました。

大学入学以来15年余の大学での自由な研究環境に馴染んできた者にとってこの規則正しい管理された生活に慣れるには可也のリハビリが必要でした。更に“研究”についても(よく科学技術とか言いますが) ScienceとEngineeringの方法論、目的及び研究者communityのセンスの違いは大きなショックでした。その後この二つの違いにも逆

に興味深い点も見出し、大学での研究時代はとかく敬遠してきたcomputer(素粒子論ではcomputerを使う研究より紙と鉛筆で計算の方が高尚な研究であると思われていた)にも馴れ、ぼちぼちこの分野の研究の面白さも分かってきて、業績も出した今年の2月研究所の寿命が尽きました。ともかくこの事実が良い方向に作用し当初からの念願であった大学の方に移ることができました。これは西辻先生、及びSRL時代も研究等相談に乗って頂いた三枝先生、その他大勢の方々のお陰であると感謝に堪えません。

今後、このより自由な環境の下で教育と研究、家庭生活の両立を目指し、更に上述の二つの異質の学問領域で培われた素養を有効に活かし、堅忍不拔の精神で精進していこうと決心しております。特に研究では数理科学全般において、とにかく新しくかつ興味深い現象は何でも食欲に研究していきたいと思っております。時折色々な議論をして頂ければと思っております。又教育においても、OD時代、塾、予備校等の経験も多かったのですが、大学に来て1ヶ月程経過し、それとはもう一つ別の側面を経験し、新たな教授戦略の研究に頭を悩ましております。機会ある毎諸先輩先生の知恵を拝聴し研究していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



情報学科講師

藤井 敏史

大学での生活は20年ぶりです。20年前は学生、現在は教員という立場の違いはありますが、講義、実習、ゼミに「大学」を満喫しています。新入生のようにやる気が満ちあふれるのを感じる日々です。

4月1日の着任早々、入学式があり私も出席しました。式が始まり、学長の告示を聞きながら、私にとっての初めての「大学の入学式」であることに気づきました。今から29年前の1969年は、大学に学園紛争の嵐が吹き荒れていた頃で、入学式は中止になり、その後1年半も休校状態が続きました。おかげでカリキュラムは混乱し、卒業までまともな夏休みや冬休みが無いなど慌ただしい4年間であったことを思い出しました。今回の入学式は、「かつて経験できなかった」そして「大学

に戻ってきた」という二つの意味で、私にとっての入学式でもありました。

さて、本学に至る私の経歴は、電機メーカーでの研究開発と、学習情報通信システム研究所(本学に隣接する北海道情報技術研究所内にありました)での基盤技術研究です。

前者では、コンピュータのLSI化、ハイビジョンVTRやデジタルVTRの開発に従事しました。ここでの実務や新人教育を担当して得た経験を学生に伝えることが、専門知識を教えることと共に、本学における私の役割であろうと考えています。

また、後者では、学習者毎に個別対応の振る舞いをするネットワーク型学習システムの開発に取り組みました。人に情報を伝える、あるいは何かを教えるという行為がどれほど難しいことであるかを実感してきました。ここで得た知見を講義やゼミに活かして行くつもりです。

ようやく生活のペースも大学になじんできました。初心忘るべからずの精神で、有意義な時間を過ごすべく一杯取り組む所存です。学問および生活を問わず、至らない点へのご助言やご指導をこの文を読まれたすべての人をお願いして、着任にあたっての言葉といたします。

## 📖📖📖📖📖 Library Information 📖📖📖📖📖

### \*\*\* お知らせ \*\*\*

**図書館引っ越しのため、臨時休室します!**

このたび、図書室の『松尾記念館』への移転に伴い、次の日程で、臨時休室することになりました。休室中は、図書室への入室は勿論、貸出や所蔵調査等の依頼にも応じられません。

後期試験直前の休室となるため、とくに学生の皆さんには、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。

(レポート課題、試験の準備は、お早めに。  
必要な資料は7月3日(金)までに準備  
しましょう!)

**休室日程：平成10年7月6日(月)  
～7月22日(水)**

### 臨時休室に伴う、特別貸出について

I. 学部生及び、職員は、貸出期間が延長されます。

6月19日(金)～7月3日(金)に借りた本

→ 返却は、7月27日(月)まで

II. 貸出冊数の制限を増やします。

通常10冊まで → 1人、25冊まで

(学部生、通教生、職員)

### その他

I. 所蔵調査(検索マシンの使用等)は、  
7月6日(月)～22日(金)の休室期間と、  
7月23日(土)からの当面は休止します。

II. 休室期間中のコピー機は、図書室隣の実験室  
にコピー機を設置しますので、ご利用下さい。

7月23日(木)からは新図書館(松尾記念館1F)をご利用下さい!



今回は、『ななかまど第6号』の『Library Information』に掲載した以降に、図書室に入ったLD(レーザーディスク)所蔵一覧をご紹介します。どうぞご利用下さい。



## LD (レーザーディスク) 所蔵一覧

タイトル	分	タイトル	分
陽のあたる教室	143	リアリティ・バイツ	98
恋人までの距離 (ディスタンス)	102	デイルイト	115
ギルバート・グレイブ	117	マイ・フレンド・フォーエバー	100
フレンチ・キス	111	マンハッタン花物語	85
マイ・ルーム	99	身代金	140
ラスト・ダンス	104	バスケットボール・ダイアリーズ	102
星に願いを	96	耳をすませば	111
時をかける少女	104	真実の行方	130
ザ・プライベート	95	デビル	111
Mr.Bean (4枚組)	360	乱気流 ～タービュランス	101
コンタクト	150	目撃	121
さまよう魂たち	110	ジャック	114
ダンデズ・ピーク	109	フィフス・エレメント	126
ミッション・インポッシブル	110		

## ♪-ロメモ♪

LD(レーザーディスク)の利用は、ヘッドホーンを使用していただくことになっていますが、同じLDを、仲良く複数で観たい時は、最大6人まで、一緒に観ることが出来ます。(多少、窮屈ではありますが...)。その際、カウンターで、申し込みの時に、何人で利用したいのかをお申し出て下さい。

## ★ LIBRARY DATA ★

### 《貸出図書ランキング★No. 1》

本年、1月から6月までの期間で、貸出回数の最も多かった図書、ベスト1を紹介します。皆さんの好きな図書は、見事、第1位に輝いたでしょうか？

#### ！同率1位が5冊！

『あのころ』(さくらももこ 著) 集英社

『BRAIN VALLER 上・下巻』(瀬名秀明 著) 角川書店

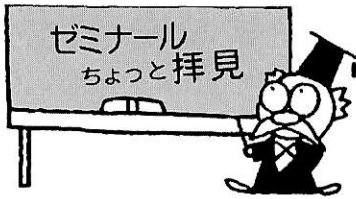
『9つの性格～エニアグラムで見つかる「本当の自分」と最良の人間関係』

(鈴木秀子 著) PHP研究所

『少年H(エッチ) 上巻』(妹尾河童 著) 講談社

『創竜伝8 仙境のドラゴン』(田中芳樹 著) 講談社





古室ゼミナール

古室 俊行

新聞の死亡広告を一生懸命スクラップしている娘を見て、父は縁起でもないと言った。ところが、娘は某宝石店に勤めていて、そのセールスのターゲットを、新聞の高価な死亡広告を出す人にしぼっていたのである。死亡広告の情報を人によって価値のあるものと見るか、なにげなく見過すか。このことにかかわらず、これからは、一層、情報を見る目が問われてくる。

古室ゼミでは7人がそれぞれの会社を営み、企業内の情報、販売地区の情報、国内情報など各種の情報が蓄積しているデータを引き出して、各情報を解明し、販売を競うのである。より確実に情報を解明できた企業が成績をあげるのはいまでもない。その後、独自のモデルを各自で考え、経営シミュレーションを構築していく。プログラムまで作成していく時間はないが、システムを設計していくところまで完成するゼミ生もいる。そのため、科目「システム設計」「システム設計演習」は必ず受講させるようにしている。

特に販売競争の結果が出力された時は、喚声が上がると、和気あいあいとして賑やかなゼミである。



佐々木ゼミナール

ゼミ長 听 実果子

佐々木ゼミは、3年生15人、4年生10人、計25人のゼミです。3年次では、システム工学とインフォメーション・エンジニアリングの基礎を学びます。3年次での授業の進め方は範囲を決め割り当てられた人が毎回、発表していき、それに対して皆で質問や意見を言い合っていくという形で進められます。4年次では卒論の中間発表をしています。それに対して皆で意見を言い合います。

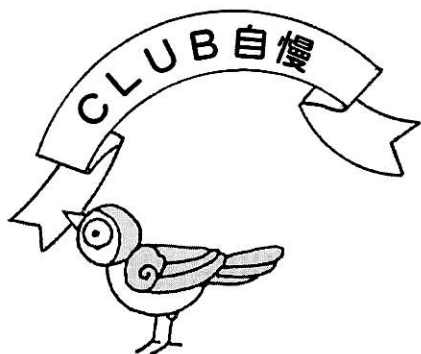
佐々木教授は“ゼミでは普通の講義とは違い、経営学に関連のある分野であればどんなテーマを選んでもよい。自分で選んだテーマについて、自分で資料を集め、それらの資料をどのように分析して論文にまとめるか。テーマの選択から、資料の収集、分析を通じてよく考える事、学問に対する心構えを養う事、物事を考えるときの方法を身につける事”を望んでおられます。

佐々木ゼミでは、システム工学、インフォメーション・エンジニアリングを学んでいるのですが、システム工学でも管理工学(信頼性管理)を学んでおります。これらを学ぶ事によって将来、社会に出た時にいかにして経営に取り入れていくかという事を議論していきます。

これからも教授の御指導のもとにゼミ一同一生懸命、学んでいこうと思っています。







バドミントン部



3年 今川 恭子

バドミントン部は男子19人、女子5人で活動しています。週3~4回練習しています。

年に数回試合があります。それぞれの試合でみんながんばっています。時々他の大学と一緒に練習をします。

学祭にもお好み焼き屋さんを出しています。お好み焼きはとってもおいしいです。

夏にはキャンプに行きます。みんないろいろな魚を海からとってきます。

冬はスキー旅行に行きます。とても楽しいです。

普段の練習は、2時間くらいです。土、日は3時間くらい練習しています。

はじめは基礎打ちをやってからゲーム練習をやります。土、日はノック練習もやります。とても疲れます。でもとても楽しい練習です。

これからも試合にむけて練習をがんばっていきまいたいです。

園芸部



部長 2C 新田 真紀

ぼくたち園芸部は、去年は久しぶりに新入部員2人が入部し合計7人という少ない人数ながら5月から活動を始めました。当初の予定としては、経験も少なかったために小さい畑を耕し、ジャガイモ・ニンジン・カイワレの三種類を植えてみました。ジャガイモは知識不足の為にうまくいかず、その後に比較的簡単に育つカイワレ・ホウレン草を植え途中までは順調に成長していましたが、夏の大雨によってカイワレ・ホウレン草ともども水の泡になってしまいました。そこで、種も低価格で丈夫に育つトウモロコシを急いで植えることにしました。

その後は大雨に流されることもなくとりあえず育つには育ったものの、時期はずれに植えてしまったトウモロコシは予想以上に小さく、早くから植えていたニンジンもまた同じように出来は小さく朝鮮人参のように貧相なものでした。でも、適当にその辺に植えていたニンジンは、畑に植えたものよりも少しばかり大きく育っていました。

今年は、去年の教訓を生かし種から植えるのは成長も遅く難しいので苗から植えることにし、雨にも流されぬように畑の土の量を増やすなどの工夫をし、そして植物たちが強く育つように本などを参考にして植物の育て方について知識を身につけていきたいです。

また、去年は野菜を中心に植えていましたが、今年は花など鑑賞できるものを植え、一味違う畑にするとともに、将来は大学を花で飾るまでにチャレンジしたいと思います。



◆◇ 4月～6月主要行事 ◆◇

- ☆ 大 学 ☆
- 4月3日(金) 教授会
- 4月8日(水) 入学式  
(入学者 学部学生258名 大学院生 12名)
- 5月8日(金) 教授会
- 26日(火) 木下前学長の叙勲祝賀会
- 6月12日(金) 教授会
- 25日(木) 体育祭
- 26日(金) //
- ☆ 法 人 ☆
- 5月22日(金) 高校教員対象入試説明会
- ☆ 通信教育部 ☆
- 4月10日(金) 入学式  
入学者数 918名  
(経:167名、情:745名、編入6名)
- 4月13日(月) 前期放映開始
- 5月29日(金) 地方スクーリング<札幌>
- ～31日(日)
- 6月5日(金) 地方スクーリング<全国>
- ～7日(日)
- 6月12日(金) 地方スクーリング<札幌・大阪・
- ～14日(日) 広島・北九州・福岡・水戸>
- 6月19日(金) 地方スクーリング<全国>
- ～21日(日)
- 6月20日(土) 地方スクーリング<広島>
- ～22日(月)
- 6月22日(月) 前期レポート提出期間
- ～29日(月)
- 6月26日(金) 地方スクーリング<札幌・名古屋>
- ～28日(日)

◆◇ 広報活動 ◆◇

- 5月7日(木) 高校教員対象専門学校
- ～8日(金) 合同大学説明会(名古屋)
- 5月18日(月) 高校訪問(南空知・胆振・
- ～21日(木) 小樽・旭川方面)
- 27日(水) 高校訪問(帯広・釧路方面)
- ～29日(金)
- 27日(水) 進学相談会(新潟・札幌・釧路・
- ～6月18日(木) 帯広・北見・旭川・室蘭・函館・
- 仙台・盛岡・山形・福島・青森・
- 秋田・高崎・宇都宮)
- 11日(木) 高校内ガイダンス(札幌第一高校)
- ” 高校教員対象専門学校
- 合同大学説明会(小倉)
- 12日(金) ” (広島)
- 17日(水) ” (新潟)
- 22日(月) 高校内ガイダンス(松前高校)
- ” 高校訪問(道北・道東方面)
- ～26日(金)
- 23日(火) 高校内ガイダンス(函館西高校)
- 29日(月) 高校訪問(青森)
- ～30日(火)

◆◇ 主な来校者 ◆◇

- 5月21日(木) 白樺学園高校 教員 2名
- 22日(金) 室蘭工業高校 教員 2名
- 6月11日(木) 紋別北高校 教員 2名

木下重教前学長におかれましては、1998年春の叙勲で、勲二等瑞宝章を受章されました。

編 集 後 記

今月の、『Library Information』の中でも、一覧を紹介させていただきましたが、最近、学生の皆さんのLD(レーザーディスク)の利用が大変に増えてきています。図書館で“映画鑑賞”というのは、公共図書館をはじめ、どこの大学でも、最近ではよく見られる光景のようですが、お昼休みや、授業の空き時間の有効な使い方として、人気があるのでしょうか。(映画館に通うお金の節約、レンタルビデオ代の節約にも、きっと一役かっているはず……。)わたしも学生時代、“映画鑑賞”に、せっせと図書館通いをしましたが、授業の空き時間に利用するはずが、夢中になり過ぎて、授業に遅れることがしばしば……。それでも、話題の映画は、図書館にビデオが入るまでじっと待つという、辛抱強い(?)学生でした。いよいよ7月に開館予定の『新図書館』では、現在のLDプレーヤー(4台)の他に、DVD対応のものが、新たに6台入る予定です!学生の皆さん、うっかり授業に遅れて、先生に怒られることの決してないように、楽しく利用して下さいね。

そして時には、ヘッドホンを外して、自然に囲まれた本学の外で、友達と一緒に、ひなたぼっこはどうでしょう。(ここでも寝過ぎて、授業に遅れないように。)さあ、もうすぐ北海道の短い夏がやってきます!(O)

**北海道情報大学学内報**

「ななかまど」第9号

発行日 平成10年7月1日

発行 北海道情報大学

編集 学内報編集委員会